

車検担当者からのお願い。

(予告なく変更することがありますので、係員の指示を優先してください。)

1. 整列

- ・全ての準備ができてから「1列」に並んでください。
- ・車両間隔は2m程度としてください。
- ・規定の時間内に車検に合格しないと以降の競技に参加できません。
- ・競技車両以外の自転車を車検場に持ち込まないでください。
- ・車体から手を離すときは停留措置（サイドブレーキ、輪留め）をしてください。

列に並ぶ前に、これだけはチェックしましょう。

- メンバー全員がIDカードを付けているか。
- 配布された車検用の赤いファイルはあるか。ファイルに綴じられた用紙のゼッケン番号、チーム名、ドライバー氏名はボールペンで記入したか（複数枚あります）
- 車体ゼッケン、大会表示等は貼っているか。
- 人間が押した状態で動かないくらいにサイドブレーキは効くか。
- ウィンカー・ブレーキ・ハザードやミラーはOKか
- バラスト、ヘルメットなどは持参したか。
- ドライバーは居るか。
- 黄旗は搭載しているか（布の寸法30cm角以上、棒の長さ50cm程度を推奨）

列の先頭になりましたら、ドライバー登録ブースの手前10m程度の位置で待機してください。空いたブースに係員が誘導します。

2. ドライバー登録

2.1 ヘルメット

- ・JISマーク、SNELL、MFJの文字を確認してください（SGマークは無関係）。
- ・極端に古いヘルメットは劣化し性能が損なわれていることがあります。
- ・ヘルメットの検査は整列段階で実施することがありますので予め準備してください。

2.2 ドライバー体重

乗車時の服装（ヘルメット、グラブ、靴を含む。携帯、財布、工具などポケットの物は全て出してください…万が一発見した場合、不正行為となります）。乗車時は安全のため靴の着用を義務付けています。

2.3 バラスト

固定バラストと、それ以外の個々のドライバー用に分けて準備してください。

- ・「固定バラスト」とは、登録ドライバー全員が共通で使用するものをいいます。(一人でも使わないバラストがあれば、それは固定バラストにはなりません。)
- ・個々のドライバー用は複数のドライバーで共用してかまいません。
- ・暑いので体重が思ったより不足する傾向があります。あらかじめ **2 kg** 程度は容易に調整できるようにしてください。すみやかに準備できないとき車検担当者の判断で、後回しにするか、多めの重量で進めるなどの処置とさせていただきます。
- ・バラストの数量は一人あたり **2—5** 個を目安にしてください。まとめられるものは、あらかじめガムテープなどでまとめておいてください。
- ・過去の封印や重量を記載したラベルは、あらかじめ処分しておいてください。
- ・車体の構造体と体の間に敷かれた板は、バラストとして認めません(昨年までに該当者には警告済み)。
- ・安全上、絶対に使用できないもの：液体、電池、危険物など
- ・避けた方がよいもの：工具(期間中は使用できなくなります)、砂(袋やペットボトルが破れると失格となります)、鉛

※鉛は有毒です。チームメンバーと車検担当者の健康のため次回以降ご遠慮いただくようお願いいたします。

2.4 リストバンド

- ・ドライバー氏名を記入していただきます。その他の事項は係員が記入します。
- ・その場で腕に付けてもらいます。表彰式まで外すことはできません。

3.車体

- ・コントロールライン手前 **2m** 程度の位置で、ドライバーが乗車しバラストを積んでレースと同じ状態にしてお待ちください(ただし手押しで構いません)。
- ・コントロールライン通過時にトランスポンダの応答を検査します。
- ・ボディ寸法検査の枠が路面にあるので、枠中に車体を収めてください。
- ・ゼッケンや大会表示が貼ってあるか検査します。
- ・後方視界(バックミラーで見える文字、矢印などを口頭にて回答してもらいます)
- ・ウィンカー左右、ハザード(左右同時点滅)、ブレーキ灯の色や光量をチェックします。
- ・警音器(ホーン)の音量をチェックします
- ・無線機の有無をチェックします(走行中はハンズフリー装置必須、許可の必要な無線機については無線従事者免許、移動局の証票を確認します)

4.機構

- ・メカニカルブレーキをチェックします。指示に従って操作してください。
- ・高速回転体（タイヤホイール、チェーン、ギアなど）には安全のためカバーが必須です。
- ・牽引フック

5.電気

- ・バッテリー重量を測定し封印シールを貼ります。スペアバッテリーも持参のこと。
- ・電気コードは、ボディと車体の間に噛まない様、また地面や可動メカニカル部品と干渉しない様、狭ピッチで固定してください（タイラップ等を推奨）。過去に、思わぬチームが搬送要請、あるいは火災事故を起こしています。
- ・スイッチ部の端子などは全てカバーしてください。（低電圧でも最低限、ガムテープ）
- ・30V以上の電圧のあるところは高電圧注意の警告表示が必要です。

6.傾斜

- ・斜面に停車しサイドブレーキのみで停止できるかチェックします。

7.スラローム

- ・センターライン上の赤色の障害物（コーン）にぶつからない様に、通過してください。
- ・急ぐ必要はありません。

8.ブレーキテスト

- ・スタートから加速し、コース途中 1・2 本目の旗の間を指示速度以上で通過してください。
- ・2 本目の旗を通過した瞬間にブレーキをかけ、3 本目の旗の手前で停止してください。
- ・通過の基準は前輪となります。
- ・速度不足、制動距離超過の場合はやり直しになりますので指示を仰いでください。
- ・ブレーキテストのコースは歩行者横断禁止です。

9.車検合格シール

- ・全部の項目に合格しているときに配布します。
- ・その場で貼っていただきます

10.その他

- ・一部の車検のみ再受験の時は、列に並んでから、ドライバー登録ブースの責任者に申し出てください（状況により追い越していただきます）。
- ・時間内の受験ができない恐れがあるチームの方は、車検終了 20 分前までに大会本部まで申し出て、指示を仰いでください。

注意：以上は WSR/JISFS 大会及び WSBR 大会ともに適用させていただきますが、大会別（特に WSBR）及びカテゴリーやクラスによっては適応しない項目もあります。

※この**お願い**は車検ボランティアでご協力頂いている佐藤 治氏から
ご提案頂いたものを使用させて頂いております。

2009/07/27

クリーン・エナジー・コンペティション